

マイブウ・メーノス（まあーまあー）の世界 ブラジル

ブラジルを訪問する人、ブラジルに関心のある人にお勧めする！！

梅津 久 記

第33話—LJ 作戦

ラヴァ・ジェット作戦(洗車作戦—車や床などの汚れを一気に洗い落とすウォーター・ジェット噴射洗浄という意味)2014年3月にパラナ州連邦警察の捜査の一つとして7州で捜査が始まった。この作戦は2005年から2006年にかけて起きたメンサロン事件(ブラジル最大級の政治スキャンダルで議員票買収事件)で摘発された政治家やマネーローダリングに使っていた会社関係者による2008年の告発がきっかけで、連邦警察によるペトロbras社の増収賄賂疑惑(ペトロロン)を解明する目的で始められた。年を追う毎に捜査対象が広がり、建設ゼネコン大手社をはじめ大物政治家を取り巻く広範囲な捜査となっており汚職捜査の範囲はペトロbras社、保険省、アングラ原子力発電所、南北鉄道、石油総合コンビナート、W杯や五輪関連施設建設などに広がって、ブラジル歴史上最大の汚職撲滅捜査に拡大した。

賄賂の構図は、ペトロbras社との請負契約を通して水増しされた契約額から差額分を賄賂として指定された会社(政治団体、個人)に渡されていた。

遂には、2016年3月にルーラ元大統領の強制連行事情聴衆にまで及びジウマ・ロセフ前大統領のペダラーダ(紛争会計)による罷免・弾劾裁判(2016年8



写真—Tanis Rego/Agencia Brasil

月31日に決定。25年間にブラジルでは二人目)に大きな拍車がかかった。またエドゥアルド・クーニャ会員議長の職権剥奪までに至る。

2014年3月の第1弾で7州で金融業者など17名が逮捕され、金融業者の自宅捜査では5百万リアル(約1億7500万円)の現金、20万リアル(約700万円)相当のジープを含む高級車25台、宝石、絵画や拳銃が押収された。それ以降、2016年12月まで38弾もの摘発が行われてきている。第2弾では、ペトロbrasの元供給部長

が逮捕され、第 1 弾で逮捕された闇金融業者とともに司法取引に合意し、捜査の対象が大きく広がった。

第 2 弾で逮捕されたペトロブラスのパウロ・ロベルト・コスタ元供給部長が司法取引に応じ、同公社を取り巻く汚職の実態を暴露し始めたのに続き、闇為替商のアルベルト・ユセフ氏らも報奨付きの供述を始めたことで、捜査対象は次々に広がり、国内有数の企業が様々な公共事業で私服を肥やすための汚職



写真—br.blastingnews.com

がおこなわれていた実態が浮き上がってきた。2015 年 2 月 5 日の第 9 弾マイウエイ作戦では、初めて議員ではない政治関係者が逮捕され、スイスの銀行口座で賄略を受け取っていた実行者の存在が明らかになる。これらの賄略の一部は PT 政権の PT 党のルーラ元大統領やジウマ前大統領の選挙運動資金にあてがわれていたこともわかってきた。この結果、2016 年 12 月までに逮捕者は 182 人、個人的な司法取引は 71 件、企業単位の司法取引は 7 件、有罪判決を受けた人は 120 人、刑期総計は 1257 年 2 か月という汚職摘発が行われている。この捜査の中心になったのがパラナ連邦地裁のセルジオ・モーロ判事である。

そして捜査対象が広がり、ルーラ元大統領とジウマ前大統領の会話の盗聴記録公表や、それによるルーラ氏の官房長官職就任差し止めまでにも発展した。これをきっかけにジウマ前大統領の弾劾裁判の気運は一層高まった。

ルーラ元大統領が国外に売り込んだオブデレヒト社は 11 か国(マキシコ、ドミニカ、グアテマラ、パナマ、アンゴラ、モザンビーク、ペルー、アルゼンチン、エクアドル、コロンビア等)で 7 億 8800 ドルに及ぶ賄略工作を行っていたことが判明した結果、この 3 年間で 10 万人以上の解雇まで余技なくされ、また同社の現・元役員ら 77 人が司法取引に応じることになった。それにより政治家への告発はさらに強まり、検察庁から最高裁への起訴状提出も早まることにつながる。またなんと、英国のロールス・ロイス社もペトロブラスと石油採掘船用の発動機で賄略に関係し取引額 6 億 5000 レアル(約 227 億円)、賄略 510 万レアル(約 1.8 億円)が判明している。

2015年6月19日、ブラジル最大級のゼネコンであるアンダラーディ・グチエレ社のオタビオ・アゼベード社長、オベデヒト社のマエウセロ・オデブヒチ社長がそれぞれ逮捕される。その他、カマルゴ・コレア社、OAS社、メンデス・ジュニオール社も捜査の対象となっている。



写真－セルジオ・モロ判事 Exame Abril

2016年(2015年?)8月20日には収賄と資金洗浄の罪状でクーニャ下院議長への起訴状が最高裁へ提出された。これが後のクーニャ氏の免職につながっていく。

2015年11月にルーラの親友ブラインが逮捕され、一気にルーラ包囲網が狭まった。

12月にはクーニャ会員議長の議席剥奪を審議する下院倫理委員会で審議開始が賛成される。

それによって、クーニャ下院議長はジウマ罷免審議開始を決断。

その後は絵に描かれたようにジウマの弾丸裁判が進んでいく。

ルーラ元大統領、ジウマ前大統領の捜査に関しては、2016年2月ルーラのトリプレックス(三層住宅)の私有化や、アチバイアの豪邸賄賂捜査が本格化したのが大きい、さらにルーラ経済研究所の不正会計処理などが挙げられた。これでルーラが逮捕されるかもしれないとなり、ジウマが血迷って「大臣不逮捕特権」を与えようとルーラを官房長官に指名したため、国民の反発はさらに大きくなり、さらに2016年3月には手法取引に応じた上院議員の有力雑誌社のインタビューに対して、ルーラ前大統領、ジウマ現大統領(当時)ペトロブラスの汚職を知っており、LJ作戦に関与しようとしたことが報じられ、2016年3月15日のパウロスタ大通りには100万人規模のマニフェストが起こることになった。またルーラにはLJ捜査妨害容疑としてペトロブラス元国際部長ネストル・セルヴェーロ氏に司法取引に応じないように金銭を渡そうとした容疑で起訴された。ルーラ抜きでペトロロンがこれまで長期広範囲に機能するはずがない。

そんな中、リオ五輪ではネイマール率いるブラジルチームが優勝、劇的な五輪終幕するとすぐに、ジウマ罷免は正式に決定し、大統領はテメル氏に引き継がれた。テメル新大統領の最大の課題は「歳出上限法」、「年金改革法」と「労働法改革」の議

会承認である。

この中で、連邦検察庁が提出した汚職防止法案の 10 項目は原形をとどめないほど議会でいじり繰り返されて判事や検事達にまで職権乱用罪を適用されるものになってしまった。

2017 年 1 月 19 日、小型飛行機がリオ州パレチ沖の会場に墜落、パイロットを含む乗客 5 名全員が死亡。この中で、テオリ最高裁判事の死亡が確認され、ブラジル全土に大きなショックが走った。

テオリ判事は最高裁でLJの審査の報告官であり、12 月の行われたブラジル最大の企業デブレヒト社 77 名に対して連邦検察庁で行われたLJ捜査史最大級の司法取引による供述の内容の確認中で、2 月にはその内容が正式に承認され公表される予定であった。そのなかには数多くの有力政治家の名前が出ていることは 12 月から噂されており、この事故は陰謀説が高く、連邦警察や検察庁も捜査を開始することになり、今後の捜査上に暗雲が立ち込めはじめ、謎の残る事故となった。

参考

- ★ LJ作戦の結果は、2016 年 12 月までに逮捕者は 182 人、捜査対象企業 16 社、個人的な司法取引は 71 件、企業単位の司法取引は 7 件、有罪判決を受けた人は 120 人、刑期総計は 1257 年 2 か月、詐取金額 428 億リアル(約 1 兆 4,980 億円)、賄賂金額 64 億リアル(約 2,240 億円)、国庫に戻された金額 7 億 5,690 万リアル(約 353 億円)という汚職摘発が行われている。
- ★ 司法取引に応じると、50 年の刑が 3 年から 5 年になる。
- ★ 日本のロキード事件での賄賂は 30 億円、そのうち首相に 5 億円
- ★ ペトロロンの賄賂は 100 億リアル(薬 3500 億円)、賄賂額は通常契約金の最大 3% と言われている。この中には日伯合弁企業トーヨー・セタル社の 800 万ドル(約 10 億円)の賄賂を行っている。
- ★ 上手い話には沢山のアリが群がる。ペトロブラスのレシフェの精油所建設は 25 億ドルで 2007 に年開始し 2011 年操業開始予定であったが、2014 年工事は完了しておらず、さらに建設費用は 200 億ドルに膨れ上がっている。
- ★ 疑惑となったルーラのアチバイヤの別荘は、サッカー場の約 24 倍の土地にルーラ夫人のマリーザが自費で購入したボートを浮かべる池やスポーツ施設があり、オデ

ブレヒト社が 50 万リアル(約 1750 万円)を投じて改修しており、ルーラの大統領引退時の自分の荷物の一部が運びこまれている、

—次号第 34 話に続く—